

スポーツ人材育成コースの特色

今日、生涯スポーツの必要性と重要性はますます高まってきており、その機能は多方面に広がってきています。所属する学部・学科の専門分野の学習に積極的に取り組み、専門的な知識・能力を身につけるとともに、スポーツ活動にも意欲的に取り組み、スポーツ科学の理解・実践に基づく高い競技能力や指導力を有した人材の育成はきわめて重要です。

このため高知大学では、平成24年度から、人文学部、教育学部（生涯教育課程スポーツ科学コースは除く）及び理学部の3学部に入学者を対象に、土佐さきがけプログラムスポーツ人材育成コース（副専攻）を開設することとなりました。

本コースは、学生の所属する専門分野の学びとスポーツ活動を両立させ、専門分野とは別に副専攻としてスポーツを科学的に学び、競技力向上のために活用するとともに、指導力を身につけることにより、在学中は学内スポーツの活性化を担い、卒業後は、地域にとどまらず国際舞台においても優れた指導力を発揮し、スポーツの活性化やスポーツを通じた貢献を行える人材の育成を目的としています。

副専攻とは、学生の所属する学部・学科（主専攻）のカリキュラムに加えて、一定の教育目標に沿って人材育成を行うまとまりのあるカリキュラムです。本コースの履修者は、所属する学部の主専攻について学んだ上に、副専攻として、スポーツ科学関連についての授業科目を履修することとなります。本コースの定める要件を満たすことで、所属する学部の課程を修了して卒業する際に、併せて副専攻の修了認定証が交付されます。

本コースは、スポーツ科学の理解と実践の学習を中心にカリキュラムが編成され、自己の競技能力の向上を基本としながら、指導力の獲得（他者への支援）及びスポーツを通じた地域貢献等についても学びます。